



山口小学校教育目標

- ・自分から進んで活動する子ども
- ・よく考え、ねばりづよくやり抜く子ども
- ・健康で、心の豊かな子ども

児童 山口小の伝統「あいうえお」

- あ あいさつ
- い いきいき授業
- う 歌声
- え 笑顔
- お おもいやり

学校経営目標（めざす学校）

「未来につながる学び、ふるさとにつながる心」を育む ～自信づくり・絆づくり・誇りづくり～

指導の重点と方途

【学力の向上】

児童の主体的な学習を促す校内研究の推進

- ・個の実態把握【子ども研、テスト・各種調査の分析】
- ・授業改善【子ども自らが求め追究する授業（子どもの活動・子どもの言葉>>>教師の指示）】

山口小の一点突破「根拠を明確にして、話す・書く」

- ・願う話す・書くの具体を描き切った授業【ねらいの明確化、引き出したい言葉の明確化、意図的な場の設定、指導・援助】

多様な学習の場、豊かな体験の場の設定

- ・少人数を生かした学習【異年齢、複式、全校一斉】
- ・多様な体験の機会創出【外部人材の活用、オープンスクール（山口小タイム）、効果的なICT活用、オンライン学習】

セルフモニタリング・セルフマネジメント力の向上

- ・セルフモニタリング力の向上（自己課題の可視化）とセルフマネジメント力の向上（目標達成のための自己管理）【自分見つけノートの活用による家庭学習習慣の定着、デジタルシティズンシップ教育】

【体力・運動能力の向上】

運動量の確保、縦割り活動の拡大、専門的指導

- ・運動の一点突破（山口小チャレンジスポーツ）
- ・専門的指導の実施【スペシャリストによる各種運動の専門的な指導の実施】

【つながる力の向上】

自治力を高め、つながりを深める児童会活動

- ・児童自ら生活を向上させる取り組み【あいさつ運動、縦割り掃除、ボランティア活動】
- ・児童主体の取組推進【児童会行事、全校遊び、なかよし班活動】

多様な他者と関わるの場の設定

- ・異なる背景をもつ他者と関わる機会の創出【オープンスクール、やさか交流、こども園との交流・連携】

コミュニケーション能力の向上

- ・自尊感情とソーシャルスキルを育む取組の推進【スリンブルプログラムの導入】
- ・専門家によるコミュニケーション授業の実施

【ふるさとを誇りに思う心の涵養】

ふるさと学習の継続・拡充

- ・地域貢献活動（主に6年三智）を継続・拡充
- ・ふるさと先生（地域講師）による授業の継続・拡充

地域学校協働活動の推進

- ・学校運営協議会と地域学校協働本部の連携
- ・山口ジュニアボランティアチームの組織、活動の展開

【安心・安全な学校風土の醸成】

不登校支援・不登校対策

- ・魅力ある学校づくり【わかる授業、わくわくする活動（児童会活動、山口小タイム）、スリンブルプログラム】
- ・些細な変化の察知【自分見つけノート、心とからだのアンケート、いじめアンケート、SOS、いのちの教育】
- ・社会とのつながり【SC・SSW・公民館・医療等との連携】

いのちを守りきる安全で安心な学校づくり

- ・いのちを守る知識・技能の向上【民間企業とのタイアップによる安全教育の実施、計画的な訓練、研修の実施】
- ・不自然さに気づく職員、美しい学校【トヨタ5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の精神】

「未来につながる学び」にかかわる学校経営指標

- ★保護者・地域アンケート「学校は、統合を見据えて、子どもたちの未来に生きる学習を十分に行っていると思うか」の肯定的回答80%以上

「ふるさとにつながる心」にかかわる学校経営指標

- ★保護者・地域アンケート「地域の思い『学校が統合しても子どもたちは山口の宝である』を受け、学校は児童に、『ふるさとを大切に、ふるさとを誇りに思う心』を育んでいるか」の肯定的回答80%以上

不登校支援にかかわる学校経営指標

- ★新規の不登校0%（年間の欠席率を前年度より下げる）
- ★学校（社会）とのつながりがない児童0%

職員 基本の「あいうえお」

- あ ありがとう
- い いのちを守る
- う 美しい学校
- え 笑顔
- お オープンな学校

職員の働き方に関わる指標

- ★教職員のセルフモニタリング・セルフマネジメント力の向上により、月の超過勤務時間45時間以下（※年間で360時間以下）に